

株式会社 ソニーDADCジャパン

環境報告書

2011

Contents

Sony DADC

§	ごあいさつ	3
§	ソニーDADCジャパンの概要	4
§	ソニーグループ環境ビジョン	5
§	ソニーDADCジャパン 環境方針/目標	6
§	環境保全活動の推進体制	7
§	環境活動の計画と実績	8
§	環境負荷の全体像	9
§	環境負荷低減への取り組み	
	・ 温室効果ガス (CO ₂) の削減	10
	・ 廃棄物の削減	11
	・ 地球温暖化防止	12
	・ 環境美化活動	13
	・ その他の活動	14
§	グリーン調達・購入	15
§	環境ヒストリー	16
§	編集方針	17
§	ご意見・ご感想をお寄せください!	18



この度は、当社の「環境報告書」をご高覧いただきまして、誠にありがとうございます。
地球温暖化、砂漠化、資源枯渇などに代表される地球環境問題は世界共通の課題であり、我々企業が果たすべき役割は非常に重要であると認識しております。
当社としても、ソニーグループの長期目標（ソニー環境計画”Road to ZERO”）である「環境負荷ゼロ」を実現するための中期目標「Green Management 2015」を設定し、2050年に「環境負荷ゼロ」の実現に向けた活動を進めております。
ここに、ソニーDADCジャパンのCSR（企業の社会的責任）の一端である環境活動の取り組みと成果をご報告させていただきます。
ソニーDADCジャパンの環境活動への取り組みをご理解いただくとともに、忌憚の無いご意見をいただけますようお願い申し上げます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

株式会社 ソニーDADCジャパン
代表取締役副社長

神原 光広



ソニーDADC日本の概要

Sony DADC

- 会社名称
株式会社 ソニーDADCジャパン
- 資本金 4億8,000万円
- 創業 1968年 3月
- 設立 2001年10月
- 主な事業内容
CD,DVD,UMD,BD等の製造及び販売

1982年世界初のCD量産開始以来、ソニーDADC日本は、ソニー光ディスク生産の基幹工場として北米、南米、欧州、中国、豪州などにあるソニーグループ光ディスク工場に量産技術を発信しています。パッケージメディアはアナログからデジタルの時代に移り、CD、MD、DVD、UMD、BDへと発展し、音楽、映像、ゲーム、情報パッケージなどのソフトの媒体として世界の市場に広まっています。私たちは常にお客様に満足していただけるよう、最先端の技術に挑戦し、その実現に努め、高品質な製品をスピーディーに安定供給することを使命としています。



- 静岡工場大井川(DADJ-O)
- ・所在地
静岡県焼津市相川2001
- ・操業開始 1968年
- ・製造品目 ディスク用原盤

● 静岡工場吉田(DADJ-Y)

- ・所在地 静岡県榛原郡吉田町
大幡1300-1
- ・操業開始 1992年
- ・製造品目 CD・DVD・UMD・BD



● 茨城工場(DADJ-I)

- ・所在地
茨城県那珂市戸6700-1
- ・操業開始 1998年
- ・製造品目 CD・DVD

● 東京事業所(DADJ-T)

- ・所在地
東京都品川区西五反田3-6-21
住友不動産西五反田ビル6階
- ・操業開始
2008年
- ・営業部門



ソニーは、以下の環境ビジョンの実現に向けて目標・計画を作成し行動します。

1.理念

ソニーは、あらゆる生命の生存基盤である地球環境が保全され、現在だけでなく将来にわたり、健全で心豊かな持続可能な社会を実現するために、自らの事業活動および製品のライフサイクルを通して、環境負荷をゼロにすることを目指します。

ソニーは、環境法規制を遵守し、グローバルな環境マネジメントシステムを継続的に改善しながら、自らの事業活動、及び製品のライフサイクル全体を通して環境負荷を確実に減らすとともに、汚染の防止に努めます。特に重要な環境の4つの側面については、下記のゴールを設定し実現に向けて積極的に行動します。

2、基本姿勢

- ・気候変動について
事業活動ならびに商品・サービスのライフサイクルに起因するエネルギーの使用を削減し、温室効果ガスの排出ゼロを目指します。
- ・資源について
事業活動における新規の資源投入量を最小化するために、重視する資源を特定し、その新規材料の利用量ゼロを目指します。また、水の適正な利用に努め、事業所における廃棄物を最小化するとともに、市場からの製品の回収リサイクルに最大限の努力をします。
- ・化学物質について
使用する化学物質が人の健康と地球環境にもたらす著しい悪影響のリスクを最小化します。
使用する化学物質の確実な管理を行うとともに、予防的措置の観点に立ち、科学的確証が十分に得られていない場合も考慮しつつ、環境に著しい影響を与える可能性のある物質の継続的な削減・代替に努め、可能となり次第、その使用を中止します。
- ・生物多様性について
事業活動や地域貢献活動を通して、生物多様性の維持、回復を積極的に推進し、生態系サービスの保全と持続的な利用に努めます。



基本理念

働く全ての人は、「地球環境保全の重要性」を理解し、これらを実践するように努める。

方針

私達は、法規制・協定及び「ソニー環境中期目標(GM2015)」を遵守し、行動して行きます。
「ソニーグループ環境ビジョン」を共通の方針とし、以下にサイト特有な方針を定める。

- (1) 顧客のニーズ及び要求を把握し、信頼を得ることが出来るように、技術的・経済的に可能な範囲で、マネジメントシステムを構築します。
- (2) 製品・環境関連の法規制・協定及び顧客要求事項を、働く全ての人に認識させ、関連プロセスを運用します。
- (3) 環境目標の達成を目指し、必要な経営資源を提供します。
- (4) マネジメントシステムの評価を年1回以上行い、適切性・有効性の確認と是正を実施します。
- (5) 地球環境保全のため、CO2・廃棄物・水使用量の削減に努めます。
- (6) 周辺環境整備に努め、諸官庁・住民とのコミュニケーションを図り社会貢献します。

(株)ソニーDADCジャパンの2011年に向けての目標

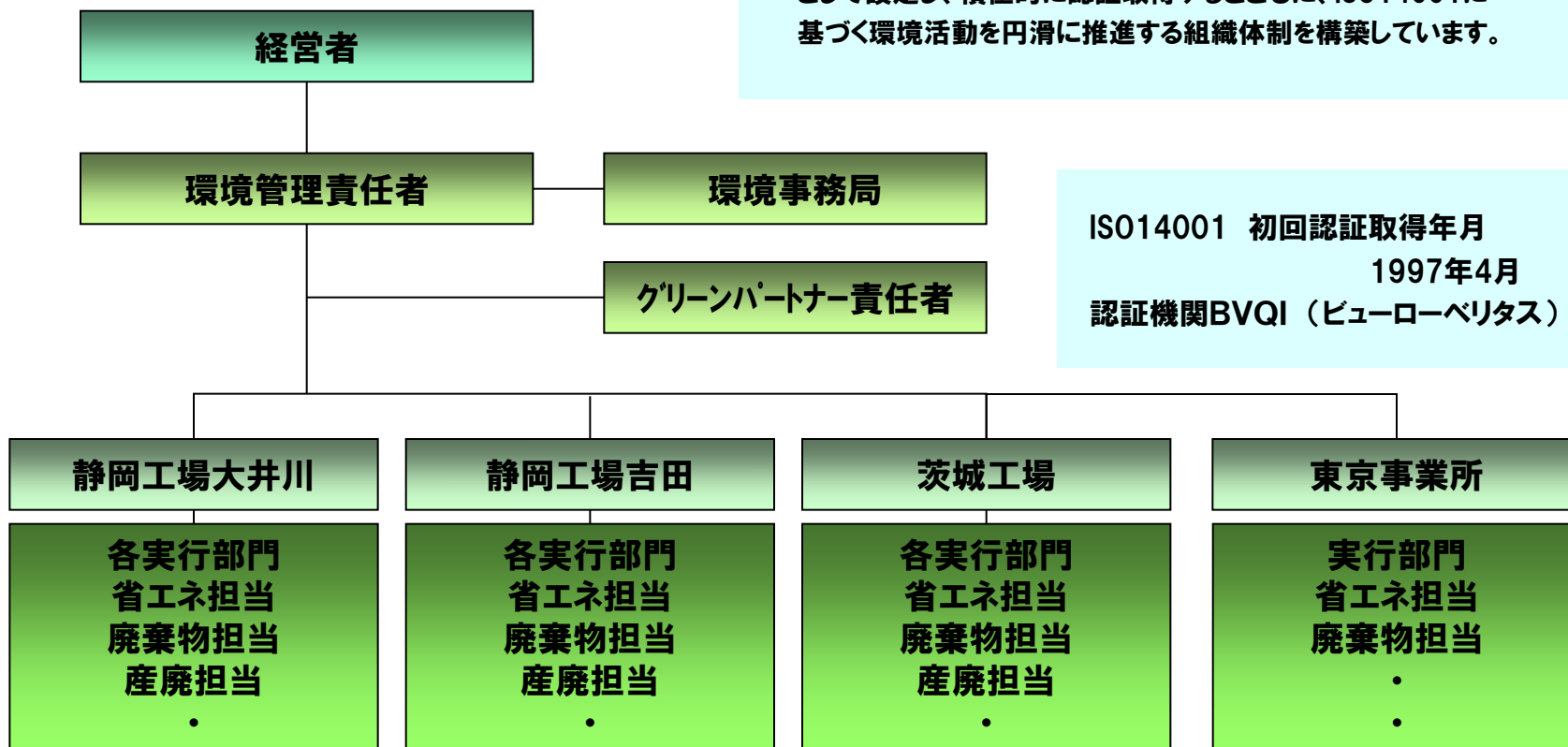
- ① 電力使用量の削減 ・ ・ 削減量：955,000kwh以上
- ② 廃棄物の削減 ・ ・ ・ ・ 削減量：80 ton以上
- ③ 水使用量 ・ ・ ・ ・ ・ 使用量：602千ton以下



環境マネジメントシステム組織図

ソニーDADCジャパンでは、環境保全活動を確実に進めていくために、ISO14001を環境マネジメント推進のための基本ツールとして設定し、積極的に認証取得するとともに、ISO14001に基づく環境活動を円滑に推進する組織体制を構築しています。

ISO14001 初回認証取得年月
1997年4月
認証機関BVQI（ビューローベリタス）



2010年度実績

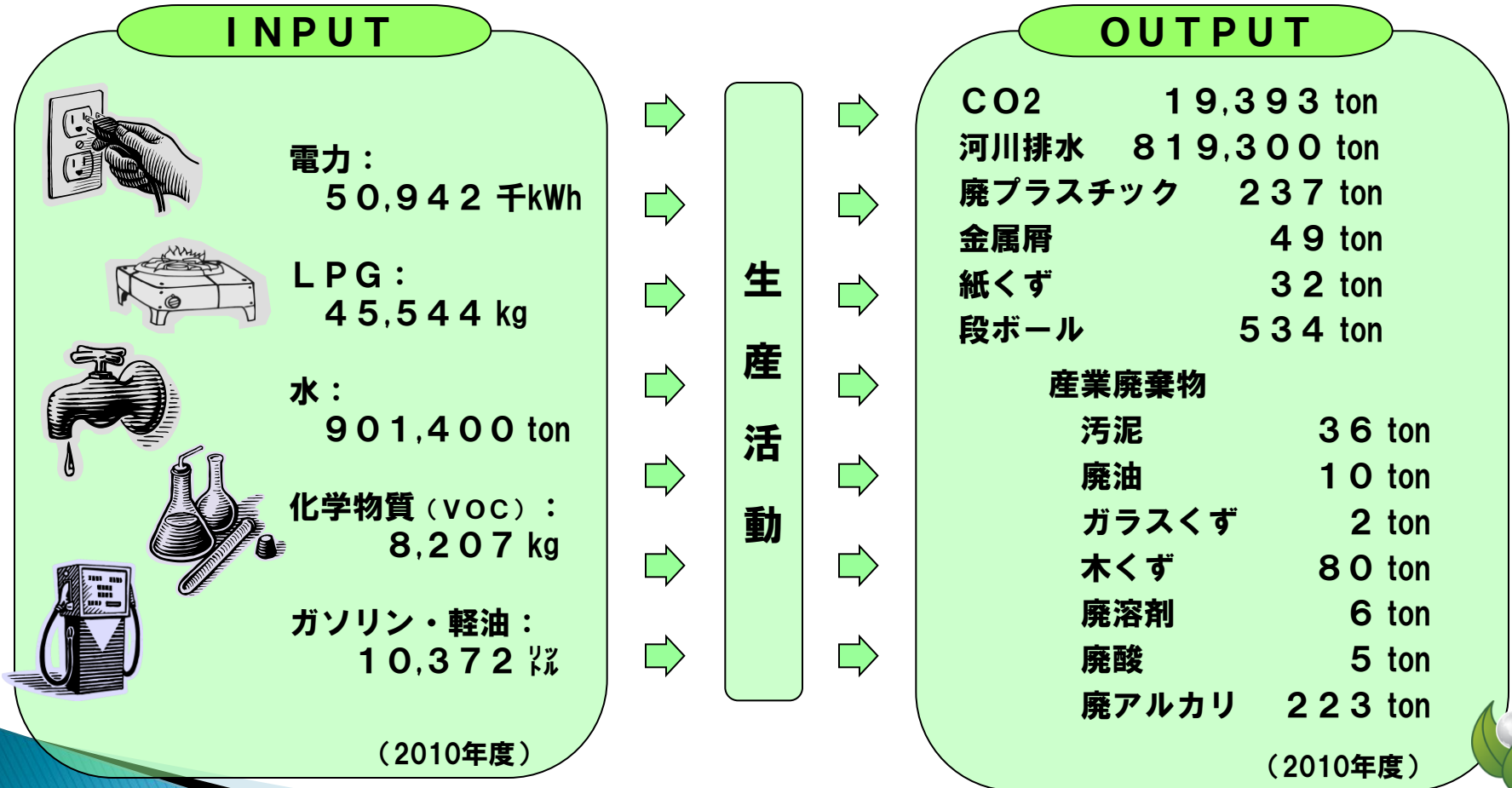
項目	目標	実績	達成度
温室効果ガス (CO2) の削減	760 ton以上	1,556 ton	
温室効果ガス (CO2) 発生量	20,308 ton以下 ※1	19,393 ton ※1	
廃棄物の削減	200 ton以上	793 ton	
水使用量の削減	30 千ton以上	126 千ton	

※1：年度総排出量
 その他項目は2006年度からの累積削減量

環境負荷の全体像

Sony DADC

ソニーDADCジャパンは、事業活動の環境側面における環境負荷を把握し、環境影響評価を行い、削減目標を掲げ環境負荷の低減に努めています。



取り組み:温室効果ガス(CO2)の削減

Sony DADC

- 2008年度に**高効率水冷インバーターターボ冷凍機**の導入を行っております。最新設備は環境負荷が少なく、従来設備に比較し年間461tonのCO2削減が可能となりました。



高効率水冷インバーターターボ冷凍機

- 2007年度からパブリックスペースを中心にダウンライトの**LED化**を進めています。不要な照明は点けませんが基本ですが、安全上必要な照度を確保しつつ、徐々にLEDに交換しています。



高効率ターボコンプレッサー

- 2010年度に、**高効率ターボコンプレッサー**の導入をいたしました。環境負荷低減に貢献しております。

- 2006年度から計画的に成形機に「**断熱カバー**」取り付けを行っております。「断熱カバー」は、加熱筒の保温カバーの役割を果たし、熱の放出を防ぎ、加熱の際の消費電力を抑えます。また、空調負荷をも軽減する事が出来ています。



成形機「断熱カバー」



食堂ダウンライト「LED」





木製パレット

●ケース購入時、資材搬入時に使われる**木製パレット**を納品用に再利用したり、資材メーカーに返却をしています。それでも、使いきれない場合は運送業者に引き取ってもらい再利用しています。



折りたたみコンテナ



通い箱

●購入ケース梱包、資材梱包に使われ、不要になった段ボールを利用し製品梱包用の**緩衝材**に再加工しています。この緩衝材も役目を終えると、再び段ボールとしてリサイクルできるよう工夫されています。



緩衝材への再加工



緩衝材



緩衝材の使用例

●主要取引先の印刷物納品に、**折りたたみコンテナ**や**通い箱**を使用しています。納入時に、折りたたみコンテナ、通い箱を返却し運用しています。





環境浄化植物

●2003年に蒸気ボイラーの
廃止をしています。
ボイラーから排出される
排ガスには窒素酸化物や
硫黄酸化物、ばいじんなど、
大気汚染や酸性雨の原因と
なる物質が含まれています。



緑のカーテン

●昨年から、各サイトに環境浄化植物
を植えています。
この“環境浄化植物”は、他の園芸
植物と比較すると、

- ・CO2吸収量が 4～6倍
- ・NO2吸収量が 5～8倍
- ・ホルムアルデヒド吸収量 3～4倍
- ・周囲の温度を下げる打ち水効果。
など、さまざまな効果があります。



重油タンク廃止

●茨城工場では、事務所がガラス
張りのため昼間の照明は不要で
すが、夏場の暑い日ざしで、空調
負荷も大きくなります。
そこで、朝顔を植えて緑のカーテン
を作り、空調負荷を軽減させる工
夫をしています。





大井川工場:工場周りのゴミ拾い

- 1997年から工場周りの**ゴミ拾い**をはじめ、今年で15年目となります。
茨城工場では、工場近く的那珂川で例年行われる“久慈川&那珂川水系一斉**クリーン作戦**”に参加しております。



協力会社さんも一緒になったのゴミ拾い



吉田工場:工場周りのゴミ拾い



茨城工場:久慈川&那珂川水系一斉クリーン作戦



ライトダウンキャンペーン

●毎年、ライトダウンキャンペーンに参加しております。

構内の照明を最小限に抑える事で省エネ意識も向上します。

●環境意識向上のために環境フェアを開催しております。環境に関する情報、環境活動の成果など情報の共有化をする事で環境に対する意識も向上しております。



静岡工場吉田 環境フェア開催



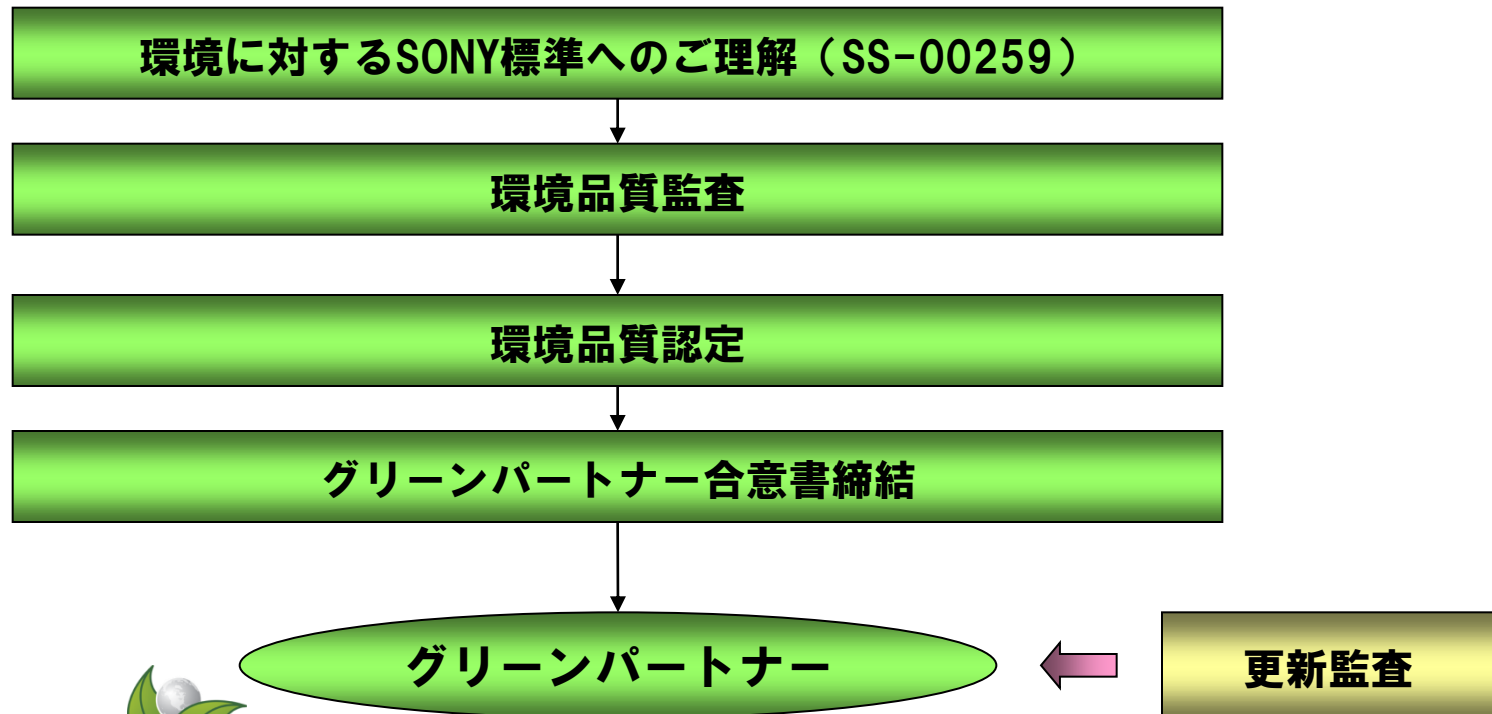
茨城工場 環境フェア開催

●年数回、周辺企業と環境についての情報交換会を行っております。各社、効果のあった環境保全活動を持ち寄り、水平展開する事で効果を挙げています。

※ライトダウンキャンペーンは環境省主催のチャレンジ25キャンペーンの一環であり、告知ポスターは、環境省によって作成されたものです。



ソニーDADCジャパンでは、グリーン調達の源流管理を行うために「グリーンパートナー環境品質認定制度」を導入しております。この制度は、「グリーンパートナー基準」によって明確化された化学物質管理を行っていただけるサプライヤー様を「グリーンパートナー」と認定し、このサプライヤーからのみ部品・材料の調達を行うものです。「グリーンパートナー」認定後も定期的に更新監査を実施し、「グリーンパートナー基準」が維持管理されている事を確認しております。



年度

- 1968 ・ CBS・ソニーレコード(株)設立
静岡工場 竣工 (現:静岡工場大井川)
- 1970 ・ 公害防止委員会発足
- 1990 ・ エコトレイの開発
- 1991 ・ 脱フロン委員会発足
- 1992 ・ 静岡第2プロダクションセンター 竣工 蓄熱槽設置
(現:静岡工場吉田)
- ・ 地球環境委員会発足
- ・ 塩素系有機溶剤全廃
- 1993 ・ 第1回地球環境フェア開催
- ・ 洗浄用フロン全廃
- 1997 ・ ISO14001取得
- ・ 会社周辺の清掃活動開始
- 1998 ・ 茨城工場 竣工 蓄熱槽設置
- ・ 電動成形機の導入(業界初)
- 1999 ・ 産業廃棄物適正処理推進功労者
静岡県知事褒賞

年度

- 2000 ・ ソニー(株)1999年度廃棄物ゼロエミッション達成賞
- ・ ソニー(株)2000年日本地球環境賞環境賞
- 2003 ・ 蒸気ボイラー廃止 A重油タンク掘り出し廃棄
(静岡工場吉田)
- 2004 ・ A重油タンク掘り出し廃棄
(静岡工場大井川)
- ・ 焼津大井川町危険物協会より
保安功労賞(優良事業所)を受賞。
- ・ 廃棄物のリサイクル率100%達成
- 2005 ・ マテリアルリサイクル開始(粉碎+洗浄)
- 2006 ・ 成形機加熱筒へ放熱防止カバー
(ECOカバー)の設置
- ・ 廃棄段ボールを利用し緩衝材
- 2008 ・ 高効率水冷インバーターターボ冷凍機導入
- 2009 ・ 電子マニフェスト導入
- 2010 ・ 高効率ターボコンプレッサー機導入

この報告書は、ソニーDADCジャパンの環境活動を皆様にご報告し、ご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、1999年より発行いたしております。

●環境報告書の対象

範囲/ ソニーDADCジャパン（静岡工場吉田、静岡工場大井川、茨城工場、東京事業所）

期間/ 2010年度（2010年4月から2011年3月）

分野/ 環境的側面

●発行部署/連絡先

総務部門総務グループ

住所：静岡県榛原郡吉田町大幡1300-1

TEL：0548-33-1234 FAX：0548-33-1245

ホームページ： <http://www.sonydadc.co.jp/environment/index.html>

ご意見・ご感想をお寄せください！

Sony DADC

環境報告書をお読み頂き、ありがとうございました。

弊社の事業活動における環境管理活動の内容をお知らせするものです。
本報告書をお読み頂いた皆様の率直なご意見・ご感想をお聞かせ下さい。
今後の弊社の環境への取り組みに、活かしたいと考えております。



2011年8月 発行

お問合せ先
(株)ソニーDADCジャパン
総務部門 総務グループ
静岡県榛原郡吉田町大幡1300-1
TEL :0548-33-1234 FAX :0548-33-1245